藍本庄区防災マップ北

緊急連絡先
三田市災害対策本部（市役所）
TEL 563-1111
消防署（火災・救急）
TEL 119

【凡　例】

- 消防団
- 防災スピーカー
- 消火栓
- 井堰
- 水路
- ＡＥＤ設置施設
- JR
- 国道
- 高速道路
- 県道・主な市道
- 土砂災害の危険箇所
- 浸水害の危険箇所
- 災害時車両通行注意

土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土石流危険渓流
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 崩壊土砂流出危険地区
- 崩壊土砂流出危険渓流
- 山腹崩壊危険地区
  (準)はその他準用地を示す

災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は電話利用が殺到し、電話がつながりにくい状況になることがあります。
このような場合は、「災害時伝言ダイヤル」が開設され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

伝言を登録する
【171】にダイヤル ▶【1】▶（市外局番）●●●-■■■■

伝言を聞く
【171】にダイヤル ▶【2】▶（市外局番）●●●-■■■■

※各携帯電話会社の災害用伝言板もあります。

☆地震が起こったら（三田市HP）

❶まず、身の安全を!
❷あわてず火の始末を!（揺れている途中に火を消そうとするとかえって危険）
❸出口の確保と落ち着いた行動を!
❹火が出たら、すばやく消火!
❺山崩れ、がけ崩れに注意!
❻狭い道や塀、川べりは避ける!
❼荷物は最小限に、避難は徒歩で!
❽正確な情報をキャッチする!
❾皆が協力し、応急救護を!

地震だ! まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね10階以上)での注意点】
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく　移動する危険がある。

落ちついて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。

あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

こんなときは赤信号　土砂災害の前ぶれ

大雨のときは地盤がゆるみ、土砂災害の危険性も高まります。
次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。
また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

- がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。
- 川が濁ったり、流木がまざりはじめる。
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
- 斜面から水が噴き出る。がけからでる水が濁る。
- 斜面にひび割れができる。
- 地鳴りの音が聞こえてくる。

浸水深の色の見方

武庫川及び東条川とその他の河川で浸水深の表示が異なりますのでご注意ください。

武庫川及び東条川	武庫川、東条川以外の河川
5.0m～10.0m未満	3.0m～4.0m未満
3.0m～5.0m未満	2.0m～3.0m未満
0.5m～3.0m未満	1.0m～2.0m未満
0.5m未満	0.5m～1.0m未満
	0.5m未満

(m) 5.0 / 4.0 / 3.0 / 2.0 / 1.0 / 0.5 / 0

山からの水が武庫川(増水のため)へ流れないため、南側全体へ水路より水があふれる
水路の水があふれ道へ流れる
土砂災害、倒木、土砂崩れ、全体 ※山が鉄砲水
水路の水があふれる
武庫川増水(台風等)国道を超えてくる
JR藍本駅
AED
井堰
山から鉄砲水
WC
藍本駅前駐輪場
土砂崩れ 平成29年
砂防ダム
酒垂神社
地震で石垣が崩壊 神社からの水で浸水のおそれあり
藍本庄区公会堂
藍本簡易郵便局
器具庫
中の池
下の池